

**公益社団法人地盤工学会  
地盤工学会創立70周年記念行事**

**特別講演会**

日時：2019年7月17日（水）15:20~17:20

場所：大宮ソニックシティ 小ホールおよび国際会議室

第1部 講師：吉見 吉昭 氏（東京工業大学名誉教授）

演題：「地盤工学会のアイデンティティ - 国際性と学際性 -」

第2部 講師：森 昌文 氏（前国土交通事務次官）

演題：「国土交通行政が地盤工学会に期待すること」

## 講師紹介

吉見 吉昭

東京工業大学名誉教授，元地盤工学会長



### (略歴)

1950年 東京工業大学建築学科卒業

1950年 ガリオア (GARIOA = Government Appropriation for Relief In Occupied Areas) 留学生 (フルブライト計画の前身) として渡米

1952年 米国ワシントン大学大学院, Department of Civil Engineering, 修士課程修了

1958年 米国ノースウェスタン大学大学院, Department of Civil Engineering, 博士課程修了

1948年 山下寿郎設計事務所

1961年 米国カーネギー工科大学助教授

1964年 東京工業大学建築学科助教授・教授

1988年 清水建設株式会社顧問・常任顧問

1988年~ 東京工業大学名誉教授

1994~1995年 土質工学会 (1995年より地盤工学会に変更) 会長

### 講演概要

国際土質基礎工学会への加入を目指し、建設事務次官を長として1949年に発足した日本土質基礎工学委員会は、5年後に学際的な組織としての土質工学会となり、1995年に地盤工学会と改称された。当初から会員の大多数は土木技術者だが、1960年代には、オフィスビルの大型化と地下階数の増加に伴い、掘削・山留・長大杭基礎の技術開発が必要となったため、かなり多くの建築技術者が本学会に参加したほか、地盤調査に関しては応用地質分野からの入会者も増加した。研究成果を世界に発信するために1960年に創刊された英文論文集 **Soils and Foundations** は、編集委員会の国際化と電子化を実現して、わが国の工学系英文論文集の中で高いインパクト・ファクターを誇っている。さらに2回の世界会議と32回の国際シンポジウム等を主催し、国際学会長2名とアジア地区副会長5名を輩出するなど着実に国際貢献を果たしてきた。

## 講師紹介

森 昌文

前国土交通事務次官



1981年 東京大学工学部土木工学科卒業  
1981年 建設省入省  
1998年 アメリカ合衆国連邦運輸省道路庁  
2000年 建設省土木研究所ITS研究室長  
2001年 国土交通省九州地方整備局福岡国道工事事務所長  
2008年 同 道路局企画課道路経済調査室長  
2010年 同 道路局高速道路課長  
2011年 同 道路局企画課長  
2013年 同 大臣官房技術審議官  
2014年 同 近畿地方整備局長  
2015年 同 道路局長  
2016年 同 技監  
2018年～ 同 事務次官

## 講演概要

平成30年7月豪雨、北海道胆振地震、平成29年九州北部豪雨、平成28年熊本地震等、毎年のように大規模な自然災害が頻発しています。これらはいずれも大規模な土砂災害による多数の死者・行方不明者を伴っているという点で共通しており、「土」に関連するこれらの災害を未然に防ぐことは、国土強靱化の最重要課題の一つとなっています。

講演では、防災・減災対策の他、これからの日本の発展のために必要となる新たなプロジェクトや、老朽化するインフラへの対応、高齢化が進む建設業の状況等に加え、ICTをはじめとする新技術の積極的な現場導入等、国土交通省が中心となって取り組んでいる政策と今後の展望について、地盤に関わる側面を踏まえながらご紹介させていただきます。

# 公益社団法人地盤工学会

## 創立 70 周年記念行事記念式典 式次第

記念式典 17:30～18:00 ソニックシティ大宮 小ホール・国際会議室  
司会：岸田 潔  
(地盤工学会理事 総務部長)

開会の辞 司会  
挨拶 大谷 順 (地盤工学会会長)  
祝辞 林 康雄 様 (土木学会会長)  
竹脇 出 様 (日本建築学会会長)  
祝電披露 司会  
閉会の辞 司会

交流会 18:30～20:30 パレスホテル大宮 4 階ローズルーム

開宴の辞 司会  
挨拶 桑野 二郎 (第 54 回地盤工学研究発表会実行委員長)  
挨拶 大谷 順 (地盤工学会会長)  
祝辞 森 昌文 様 (前国土交通事務次官)  
石原 康弘 様 (国土交通省 関東地方整備局長)  
上田 清司 様 (埼玉県知事)  
清水 勇人 様 (さいたま市長)  
乾杯 高橋 直樹 (地盤工学会理事 調査・研究部長)  
次期開催地代表挨拶  
三村 衛 (第 55 回地盤工学研究発表会実行委員長)  
閉宴の辞 安田 進 (地盤工学会 関東支部支部長)

## 地盤工学会 70 周年記念事業

### 1. 70 周年記念 第 54 回地盤工学研究発表会の実施

「地盤工学会の社会貢献と新たな展開に向けた将来像」の方針のもとに記念式典を開催します。通常的地盤工学研究発表会における特別講演を 70 周年講演として実施しました。

・期日：2019 年 7 月 17 日（水）

・会場：15:20～17:20 特別講演会（大宮ソニックシティ）；無料・一般参加可

17:30～18:00 70 周年記念式典（大宮ソニックシティ）；無料・会員のみ

18:30～20:30 交流会（パレスホテル大宮）；有料

### 2. 70 周年記念 第 13 回環境地盤工学シンポジウム

期日：2019 年 9 月 10 日（火）～11 日（水） 会場：札幌市民ホール

### 3. 70 周年記念 第 7 回不飽和土アジア太平洋会議

期日：2019 年 8 月 23 日（金）～25 日（日） 会場：名古屋国際会議場

### 4. 70 周年記念 第 8 回日中地盤工学シンポジウム

期日：2020 年 3 月 会場：京都

### 5. 地盤工学会誌 70 周年記念号発行（2020 年 1 月号予定）

「地盤工学会 10 年のあゆみとこれからの地盤工学」と題して、歴代会長、調査研究部、会員・支部部、基準部、公益出版部、国際部、杭の諸問題特別に関する特別委員会、災害連絡会議の活動と展望をまとめる計画です。

### 6. 70 周年記念座談会

次代を担う若手技術者による座談会を以下のテーマで実施し、学会誌（2020 年 1 月号を予定）に掲載します。

テーマ：2020 年代、地盤工学会に何を期待するか

7. 各支部委員会の開催する記念行事

各支部委員会では、70周年を記念した様々な行事を計画しています。下表に代表的な行事を掲載しました。この他にも行事は計画されていますので、詳しくは70周年記念特設WEBもしくは各支部のホームページをご参照ください。

支部	行事	開催予定時期
北海道	第60回技術報告会および特別公演	2020年1月予定
東北	市民参加見学会 地盤工学フォーラム東北	2019年10月予定 2020年1月予定
北陸	70周年記念 実務者による事例報告会	2019年6月予定
関東	GeoKanto2019 ソイルストラクチャーコンテスト	2019年10月31日 2019年11月予定
中部	第31回中部地盤工学シンポジウム特別講演会 市民広報イベント 地盤品質判定士協議会無料相談会	2019年8月 2019年9月 2019年10月
関西	Kansai Geo-Symposium2019	2019年度中
四国	四国支部創立60周年記念シンポジウム	2019年度中
中部	中国支部60周年記念講演会	2019年4月実施済
九州	特殊度関連フォーラム 地盤防災減災に関する技術フォーラム	2019年10月 2019年11月

## 過去 10 年の歴代会長と学会のあゆみ

### 歴代会長（2010 年～）

	日下部 治 (東京工業大学) 2010～2011		末岡 徹 (大成建設(株)) 2012～2013		東畑郁生 (東京大学) 2014～2015
	村上 章 (京都大学) 2016～2017		大谷 順 (熊本大学) 2018～		

年度	学会の動き	社会
2010	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『公益社団法人 地盤工学会』となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニュージーランド地震発生 (M7.1)</li> <li>● 東北地方太平洋沖地震発生 (Mw9.0)</li> <li>● 羽田空港新滑走路、国際線ターミナルの運用開始</li> <li>● 根岸英一・鈴木章がノーベル化学賞</li> </ul>
2011	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東北地方太平洋沖地震への対応 被災地支援活動、調査研究結果の報告活動</li> <li>● 提言の発表『地震時における地盤災害の課題と対策－2011年東日本大震災の教訓と提言－』</li> <li>● インド地盤工学会と学術協定の締結</li> <li>● 国際地盤工学会第 14 回アジア地域会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新潟・福島豪雨発生</li> <li>● 低速度台風により死者・行方不明者 98 人</li> <li>● テレビが地上波デジタル放送に移行</li> <li>● アラブ諸国で民主化運動（アラブの春）</li> </ul>

2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 24 年 7 月九州北部豪雨地盤災害調査団</li> <li>● IS-Hokkaido 2012 の開催</li> <li>● IS-Kanazawa 2012 の開催</li> <li>● 第 7 回アジア地区若手技術者会議開催 (徳島)</li> <li>● 地盤品質判定士協議会の発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州北部豪雨で死者 30 名</li> <li>● 山中伸弥教授ノーベル生理学・医学賞受賞</li> <li>● 笹子トンネル崩落事故</li> </ul>
2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地盤品質判定士 初めての「資格検定試験」を実施</li> <li>● 伊豆大島豪雨災害四学会合同緊急調査団 報告会開催</li> <li>● 第 18 回 ICSMGE 開催 (パリ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台風 26 号による伊豆大島豪雨により死者 40 名</li> <li>● 淡路島地震発生 (M6.3)</li> <li>● 平成 26 年豪雪</li> <li>● 2020 年夏季五輪・パラリンピック開催地が東京に決定</li> </ul>
2014	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アカデミックロードマップの公開</li> <li>● 災害廃棄物から再生された復興資材の有効活用ガイドライン公表</li> <li>● 土砂災害シンポジウムの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リニア中央新幹線が着工</li> <li>● 御嶽山噴火により死者 58 名</li> <li>● 広島豪雨土砂災害</li> <li>● ノーベル物理学賞 (赤崎勇・天野浩・中村修二)</li> </ul>
2015	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネパール地震被害調査結果報告会開催</li> <li>● 基礎杭工事問題に対する提言 (中間提言) 公表</li> <li>● 2015 年関東・東北豪雨災害 土木学会・地盤工学会合同調査団関東グループ速報会開催</li> <li>● 国際地盤工学会第 15 回アジア地域会議を福岡市で開催</li> <li>● 英訳化版、室内試験・地盤調査に関する規格・基準 Vol. 1 を発刊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 口永良部島新岳が噴火</li> <li>● 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産登録</li> <li>● 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨</li> <li>● 北海道新幹線開業</li> <li>● ノーベル生理学・医学賞受賞 (大村智氏)、物理学賞受賞 (梶田隆章氏)</li> </ul>
2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アジア若手地盤工学会議 (カザフスタン)</li> <li>● 地盤工学の観点から見た熊本地震-報道関係者説明会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熊本地震発生 (M7.3)</li> <li>● 平成 28 年北海道豪雨</li> <li>● ノーベル医学生理学賞 大隅良典</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・北海道豪雨による地盤・地すべり災害調査団報告会</li> <li>● 地盤工学会誌電子版を学生会員に向けて配布</li> <li>● 英訳化版、室内試験・地盤調査に関する規格・基準 Vol.2 を発刊</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博多駅前道路陥没事故</li> <li>● リオデジャネイロオリンピック</li> <li>● 阿蘇山が爆発的噴火</li> <li>● ノーベル生理学・医学賞受賞 (大隈良典氏)</li> </ul>
2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 19 回 ICSMGE 開催 (ソウル)</li> <li>● 地盤工学会誌電子版を正会員の希望者に向けて配布</li> <li>● 熊本地震地盤災害報告会「熊本地震から一年 ― 地盤災害からの復旧とこれから ―」開催</li> <li>● Soils and Foundations Impact Factor (1.088) 、5 year Impact Factor (1.580)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九州北部で記録的豪雨、37 人死亡</li> <li>● 沖ノ島世界遺産登録</li> <li>● 平昌オリンピック開催</li> <li>● 草津白根山噴火</li> <li>● 関東甲信地方・北陸地方の豪雪</li> </ul>
2018	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 30 年 7 月豪雨による地盤災害調査団</li> <li>● 平成 30 年北海道胆振東部地震災害調査団</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ノーベル医学生理学賞 本庶佑</li> <li>● 2025 年大阪万博決定</li> <li>● 大阪府北部地震</li> <li>● 岡山、広島、愛媛を中心に豪雨による土砂災害、浸水被害</li> <li>● 北海道胆振東部地震</li> </ul>